

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 2 月 19 日作成)

委員会名	地盤改良小委員会	主 査 名：藤井 衛
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2002 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	目的：地盤改良設計指針の作成 2002 年度：問題点の抽出と資料収集      2005 年度：査読・訂正 2003 年度：章立ての構成と執筆者の分担 2004 年度：指針原案の作成	
委員構成 (委員名 (所属))	藤井 衛 (東海大学)      大西 智晴 (不動建設)      田村 昌仁 (建築研究所) 鈴木 吉夫 (竹中工務店)      川村 政史 (日本大学)      寺田 邦雄 (竹中工務店) 真島 正人 (大成建設)      石崎 仁 (住友セメント)      日比野 信一 (テノックス) 青木 功 (テノックス)      佐原 守 (大林組)      山崎 勉 (間組) 安達 俊夫 (日本大学)      田中 俊平 (鹿島建設)      山本 実 (不動建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	設置 WG には固化 WG と締固め WG があり、固化 WG は深層混合処理工法、締固め WG は締固め工法の設計指針の原案を作成することを目的とする。	
2004 年度予算	140,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会は 5/21 (10 人) ,7/30 (12 人) ,9/17 (12 人) ,12/14(10 人)の計 4 回開催した。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> 固化 WG、締固め WG とも一次原稿が完成し、両 WG 間で内容を相互に検討した。固化 WG が担当する指針には、固化工法に関する最新の設計情報が含まれており、設計者にとってその価値はきわめて高い。一方、締固め WG が担当する指針は、我が国の建築分野での初めての締固め工法の技術基準であり、我が国の地盤改良の技術水準をおおいに向上させるものと期待される。
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> 両 WG ともきわめて順調に当初の計画通りに進行しており、目標の達成度は 90% と考えている。
その他評価すべき事項	特になし。